



診療科のご案内



糖尿病内分泌内科

糖尿病内分泌内科 副部長

岡田 則 男

思い当たること
こんな症状は
ありませんか？



「最近、口が乾く、頻尿」などの糖尿病の症状、「健診で血糖値が高いと言われた」などはありませんか？

「糖尿病」に気づいた今が治療のチャンスです。糖尿病を放置すると、少しずつ全身の血管が傷ついていきます。その結果、失明、血液透析、心筋梗塞、脳梗塞、そして足切断などの合併症に至ってしまう方が後を絶ちません。またコロナ感染症において重症化することも分かっています。

当院では、眼科、循環器内科などの先生方と協力して、合併症の検査治療を進めています。基本となる食事運動療法、そして内服薬やインスリンなどの薬物療法を組み合わせ、患者さんごとの病態に適した治療法を提案しております。また初めて糖尿病を指摘された方、血糖コントロールに難渋している方には、教育入院のプログラムをお勧めしています。

甲状腺・内分泌疾患においても、負荷試験や画像検査などを含めた精査を行い、外科とも協力し当院で一貫した治療を行える体制を整えております。



皮膚科

皮膚科 医師

滝 笑 津 子



皮膚は、成人では体重の約15%の重量を占めると言われ、人体最大の臓器です。体外からの刺激から体を守り、体温調節などの生命の保持に必要な機能を営む役割を担っています。皮膚にできる発疹は、皮膚そのものの病気だけでなく、他の内臓の病気と関連して生じていることもあります。

当科では、日常によく遭遇する湿疹や蕁麻疹、水虫などの他にも、ヘルペスや带状疱疹といったウイルス感染症、乾癬などの炎症性角化症や、皮膚腫瘍、脱毛症など、皮膚に生じた病気全般を取り扱っています。発疹学に基づいた視診と、ダーマスコープや真菌学的検査、皮膚病理検査、パッチテスト等で診断をします。他の科で化学療法中の皮膚トラブルにも対応しています。

皮膚疾患は難治性で長期にわたる治療が必要な場合が多くありますが、個々に合った診療を心掛けて参ります。疾患によっては、他科と連携をとりながら診療したり、名古屋大学病院などの関連施設に紹介し、適切な医療を提供します。皮膚の症状で気になることがあれば、ご相談ください。

■ 熱中症と新型コロナウイルス感染症

新型コロナ対策委員会委員長 林 和彦



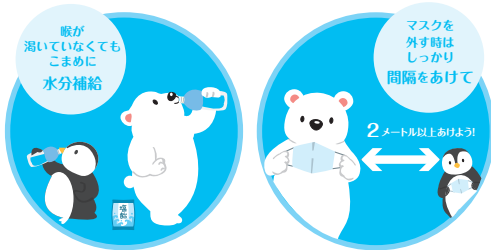
新型コロナウイルス感染症が流行してから、3回目の暑い夏の季節がやってきました。特に今年は早くから暑い日が続く、熱中症に注意を要します。熱中症と新型コロナウイルス感染症の症状はよく似ています。熱中症と思っていたら、実は新型コロナウイルス感染症であったり、その逆もあります。両方に共通

する症状は、発熱、倦怠感、頭痛、嘔気、筋肉痛、関節痛です。

熱中症にはなく、新型コロナウイルス感染症に見られる症状は、咽頭痛、咳、鼻水、味覚障害ですが、なかなか症状だけで鑑別する事は困難です。正確に診断をするためには、PCR検査が必要です。

名城病院ではPCR検査を実施して、早期に正しい診断をした後に治療を開始しています。残念な事に7月になってから新型コロナウイルス感染症がまた増えています。この夏は、マスク着用、手洗い、3密を避けるなど感染防止策をしな

がら、熱中症予防に心がける必要があります。マスクは感染対策には重要ですが、暑い場所では熱中症になりやすくなります。この対応策として、屋外で2メートルの距離が確保できる場合にはマスクを外したり、マスク着用時は激しい運動や作業をしない事です。のどが渇いていなくてもこまめに水分を補給することや、暑い日や時間帯には外出しない事も熱中症対策として推奨されます。熱中症も新型コロナウイルス感染症も、健康管理に注意すれば防げる病気です。正しい医学知識と健康意識をもって、この暑い夏を乗り切りましょう。



Nutrition 栄養と健康 Health

夏バテ防止の定番「うなぎ」

栄養部主任 管理栄養士 高坂利一

夏が旬だと思われがちなウナギですが、天然ウナギは脂がのって秋から冬にかけてが旬になります。そのため、夏にあまり売れないウナギ屋に相談された平賀源内は、土用の丑の日に「う」が付く物を食べると夏バテしないという風習に着目し、「本日、土用の丑」と書いた張り紙を店先に貼っておくように

勧めたのが、「夏にウナギを旬」とした始まりだそうです。

しかし、現在流通される、養殖ウナギは、需要が高まる「土用の丑」に合わせて育てられるので夏が旬と言われます。

暑い夏、喉ごしの良い、ひやむぎやそうめんなど炭水化物(糖質)に偏った食事になっていませんか？



ウナギには、ビタミンB1が豊富に含まれており、食事だと摂った糖質をエネルギーに変えてくれるうえ、良質なタンパク質源となります。

夏バテ防止のために、タンパク質やビタミン、ミネラルを含むバランスの良い食事をこころがけてください。



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のごあんない



診療受付時間

新患 午前 8:30～11:30
再来 午前 8:00～11:30



休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)



・時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越してください。

・人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

☎052-201-5311 FAX 052-201-5318